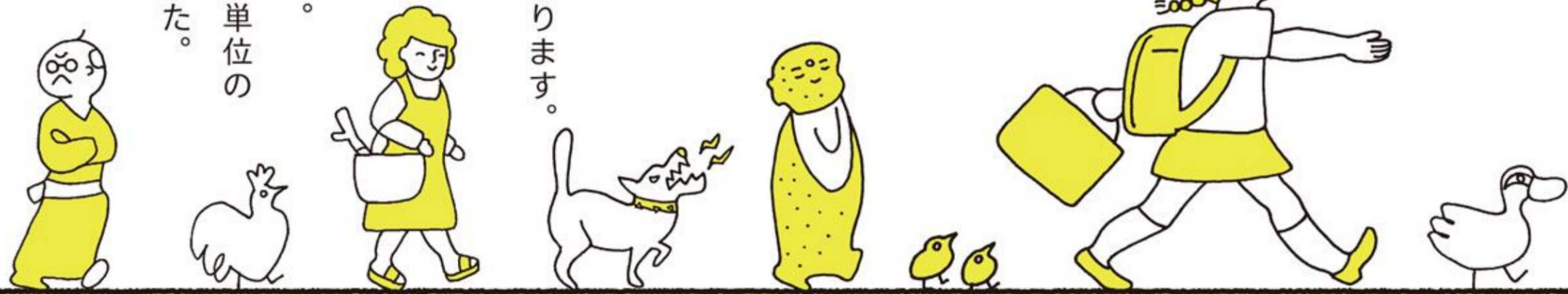


おっかないおじさん、
よく吠^ほえる犬、
雨宿りした店先。
ぜんぶで、
母校だと思う。

もしかしたら
学校のあり方が
変わるかもしれない。
山本先生、教えてください。

子どもの成長期にとって欠かせないことがあります。
それは自分の居場所を獲得することです。
「ここにいれば大丈夫、認められている」
と思える空間は、こころの原風景となつて、
子どもの成長をずっと支えてくれるからです。
そのような空間は、互いの顔がわかるような単位の
地域コミュニティによってつくられてきました。
その中心にはいつも学校があります。
現在、学校統廃合、小中一貫校の創設など
さまざまな議論が進んでいます。
行政コストの削減や学校経営の効率化も大きな課題です。
しかし、「地域の中心」という学校の役割は
とても大切です。子どもの成長への影響にも
きちんと目を配る教育改革でなくてはと、
私は考えています。



和光3分大学

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学

心理教育学科

教授 山本由美

